

杉山ゆきお後援会だより

第17号



http://fussa-net.gloomy.jp/

平成24年5月5日 発行編集者：上村 喬

お知らせ

杉山ゆきお後援会会長に

森田昌巳さん就任

今般、杉山ゆきお後援会役員会において、松尾輝昭後援会会長より健康上の理由で会長を退任したい旨の申し出があり、協議した結果、森田昌巳さんに後援会長を引き受けていただくことになりました。

松尾輝昭さんは「森田まさみ」後援会会長時代に続いて、延べ17年余の永きにわたり会長を務められてこられました。

新会長に就任された森田昌巳さんは、元福生市議会議員であり、後継者の杉山議員誕生の重鎮となつた方です。今後は、森田昌巳新会長の指導のもと、後援会活動をさらに発展させていきましょう。後援会の皆様方の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

御挨拶

森田昌巳

今般、松尾輝昭前会長の御勇退を受けて、杉山ゆきお後援会会長に就任いたしました森田昌巳です。松尾さんには永きにわたり、後援会発展のために貢献していただきました。心より御礼申し上げます。

杉山議員は、二期目の議員として、地域のみならず、福生市全体の発展のために、一生懸命頑張っています。私も松尾さんの功績を引き継ぎ、杉山議員の議員活動を支える母体として後援会活動発展のために、全力を尽くす所存ですので、後援会の皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

御挨拶

松尾輝昭

今回、私事ながら体調不良により、杉山ゆきお後援会会長の任を解かせていただくことになりました。これまで後援会の皆様には多大のお世話になっておりながら、任途中での退任の事態になり誠に申し訳なく思っております。幸い、森田昌巳さんに後援会会長を快諾していただきましたので、安心していらっしゃると思います。

後援会の皆様におかれましては、今後とも森田昌巳新会長のもとに、杉山ゆきお後援会の発展に一層のご支援・ご協力を賜りますよう深甚よりお願いして、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

福生市議会3月定例議会

平成24年度福生市予算を可決



本会議で賛成討論をする杉山議員

平成24年度第1回定例議会(3月議会)において、福生市の平成24年度一般会計・特別会計予算が成立しました。

杉山議員は、予算審査特別委員会での可決を受けて、本会議において、所属する正和会を代表して、一般会計予算案について賛成の討論を行いました。採決の結果、予算案は共産党議員を除く各党派議員の賛成多数で可決されました。

杉山議員が本会議で行った一般会計予算についての賛成討論の要旨を以下に紹介します。福生市財政が厳しい局面にある中、「財政が厳しければ、何でもかんでもサービスを後退させてもよいのか」というシリアスな命題を真正面から受け止めた予算についての賛成討論になっています。

杉山議員の賛成討論(要旨)

指名を受けたので、正和会を代表して、一般会計予算に賛成討論する。

本予算は、先の予算審査特別委員会でも慎重審議し、賛成多数で可決したものである。長引くデフレから脱却の道筋が見えない中、福生市の財政も、市税の落ち込みなどにより大変厳しい状況にある。市が苦しいときは市民も苦しいときである。こうした中でも市民サービスを後退させない、市民生活を守るという予算編成が期待されていた。

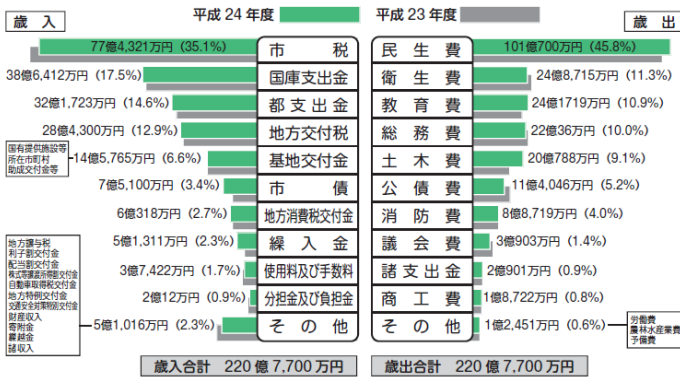
このような期待の中、本年度の予算総額は歳入・歳出とも前年度より4億3千3百万円の増額予算になっている。

歳入において、市税は前年度より2億2千万の減額となり厳しさが数字として表われている。しかしながら、国庫支出金(防衛施設周辺道路整備事業、特定防衛施設周辺整備交付金等)の増額やすみれ保育園建設補助金などの都支出金の増額もされている。

平成 24 年度 各会計別予算規模 (人口 24.1.1 現在 59,452 人)

会計区分	24年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計	220億7,700万円	2.0	37万1,342円
国民健康保険特別会計	66億8,838万7千円	4.5	11万2,501円
介護保険特別会計	32億5,041万6千円	3.5	5万4,673円
後期高齢者医療特別会計	9億4,507万9千円	10.2	1万5,896円
下水道事業会計	18億5,055万5千円	28.2	3万1,127円
総合計	348億1,143万7千円	4.0	58万5,539円

平成 24 年度 一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合



福生市議会だより No.183 より転載

福生市の財政について 杉山行男

福生市の財政は、横田基地の交付金があるから大丈夫、などとよく聞きます。私は、そういう噂に市民が何となく安心感を持っているのではと危惧しています。確かに福生市は横田基地の交付金を使って独自の事業を行っています。しかし、この交付金の配分は平成 28 年度までであり、それ以降、独自の事業は、福生市独自の財源が必要になります。

厳しい予算の中で市民サービスを後退させないために、今年度予算では6億円の借金をしました。これは将来の子供の世代が返さねばなりません。借金して収入を増やすか、支出を減らすか、真剣な議論が必要になっています。

国民健康保険特別会計への繰出の増額も厳しい国保会計への配慮、市民生活への配慮の点から評価できる。その他、教育関連予算は次世代を担う子供に配慮した予算であると理解できる。

このように、24年度一般会計予算は、重点的・効果的配分、将来の財政負担の減少を視野に入れた、市民の生活を守る予算といえることができる。

我が市にとっては、大変厳しい予算であるが故に、市税の収納率の向上はもちろんのこと、さらなる行政改革に取り組みいただくとともに、担税力のあるファミリー層の定住化対策等を推進していただくことを期待して、賛成討論としたい。

杉山議員が委員長を務める「横田基地対策特別委員会」に呈示された資料によれば、民生安定施設の助成事業は、4事業で補助額の合計は1億9763万2000円です。それぞれの事業は[国の補助額+福生市独自財源]で賄っています。つまり、補助金(横田基地交付金等)がなければ、事業そのものが成り立たない現実になっているのです。

民生安定施設の助成事業 (単位:千円)

事業名	事業費	国の補助額
市道幹線 -18号外改良工事	119,010	73,587
市道幹線 19号線外改良工事	148,067	91,081
福東緑地整備事業(測量・設計)	38,493	25,661
消防ポンプ自動車更新事業(2分団)	19,895	7,303
合計	325,465	197,632

同様に、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は5事業で交付額は3億5000万円。

事業名	事業費	国の補助額
保健センター改良事業(外壁・屋上防水)	54,097	43,000
消防団車庫改良事業(2分団)	5,671	3,000
わかざり会館改良事業	176,856	144,000
第3中学校通級指導学級設置事業	76,182	50,000
牛浜駅自由通路整備事業(全体 633,061)	429,158	110,000
合計	741,964	350,000

杉山議員の一般質問通告項目

- 1 清掃事業について
 - ごみの不法投棄対策について
 - ごみ・資源の回収について
- 2 動物の糞の処理について
 - 犬・猫の糞の被害対策について
- 3 図書館行政について
 - 図書館の将来について
 - 朗読ボランティアについて



3月定例会一般質問

ゴミの不法投棄の現状は

杉山 福生市のゴミ収集は有料ゴミ袋がルールである。ところがゴミ袋を購入せず、熊川駅に家庭ゴミを投棄する状況が続いている。ゴミの不法投棄をどのように把握しているか、熊川駅だけでなく市内の状況はどうなっているか。

市長 公共用地への不法投棄については、ゴミ対策係職員が年間約60件、委託業者が年間35件回収している。対策としては、看板の設置や、投棄されたゴミの内容物の調査やパトロールを行っているが、件数は横ばい傾向である。熊川駅前の不法投棄者突き止めようとしているが、未解決である。

ゴミと資源物の収集の関係は

杉山 各家庭には「ごみカレンダー」が配付され、資源ゴミの回収がされている。焼却ゴミと資源ゴミの分別はどの程度進んでいるか。

市長 現在、ゴミの総収集量の内、資源物の占める割合は年間約23%である。ごみ、資源物共に収集量は減少しているが、資源物の占める割合は横ばい傾向である。今後とも資源の分別のPRや資源回収の見直しを検討していきたい。

ゴミ収集業者の選定について

杉山 家庭ゴミの収集業者は4社あるが、入札制度で選定されていない。この仕事は専門性や信用が大きいく担保されなければならないが、5年10年ごとに入札するという選択もあるのではないか。

市長 家庭ゴミの収集業者は随意契約にて契約している。その理由は、ゴミ処理が地方自治体固有の事務であり、業務を委託する場合には、適正な業務の遂行が第一義であると考え、災害発生時でも迅速・適正な対応が確保されることが重要な要件であること、収集作業の経験豊富で、設備の保有と運営が適切に行われている実績があることなどから、全国の殆どの自治体で家庭ゴミの収集は随意契約で行っている。今後は定期的に複数の業者から見積もりを取り、契約額が妥当かどうか判断していきたい。

犬・猫の糞の被害対策は

杉山 犬・猫の糞の被害の広がりを聞いている。糞害対策については、飼い主のいない猫を捕獲し、不妊・去勢手術をして地域で餌やりルールを定めている「地域猫の会」の活動を知っており、応援もしている。

ついでに、犬・猫の糞害の現状を聞きたい。また「地域猫制度」の現状はどうか。

市長 糞についての被害件数の記録はないので、詳細は不明である。しかし苦情の大半は犬の糞についてであり、飼い主のモラルの問題である。担当課では「糞の始末は飼い主の責任です」の看板を設置してモラル向上を図っている。

猫のトラブルの解決策の一つである「地域猫制度」の現状だが、現在3団体が10ヶ所のモデル地区にて継続的な取り組みをいただいている。今年については猫の雄26頭雌39頭を捕獲し、不妊・去勢手術をした後、ボランティアによって「地域猫」として飼われている。福生全域では、減っている所、増えている所、様々である。地域猫の会員が、地域住民との合意のもとに、献身的な取り組みをしているにも関わらず、一部の人が公園などで勝手な餌やりをし、清掃もしないことから、地域住民や公園利用者との間でトラブルも起きている。市としては、猫の飼い主は

猫に名札やマイクロチップを装着し室内で飼うようにする東京都条例の一部改正を働きかけている。これによって、結果的には、適正な飼い主が普及し、飼い主のいない猫は減っていくのではないか。

図書館の老朽化対策は

杉山 中央図書館は32年が経過し、他の各館も建物や付随設備など老朽化が進んでいる。老朽化対策を聞きたい。

教育委員長 議員ご指摘のとおり市内図書館の改修問題は避けて通れない課題である。そこで来年度に2カ所対策を図る予定である。わかぎり会館の改修に平行して、内壁、外壁の改修、書架備品の耐震化を計画している。中央図書館については、外壁タイルの剥離が起きているので、全面的なタイルの張替えを予定している。

電子図書等の社会変化は

杉山 高齢化や電子図書の普及など社会変化が著しい。この社会変化に福生市の図書館行政をどう対応させていくのか。

部長 昨年は「電子書籍元年」といわれたが、著作権などの課題も多く、多摩地区では、未だ電子書籍を導入している図書館はない。将来的には電子書籍の導入も検討する必要があると考えている。今年度は、西多摩新聞、福生新聞、過去の行政資料など地域に関する資料の電子化、公開化を進めている。

編集後記

今号のトピックは、森田昌巳後援会長の誕生。新会長の指導のもとに、本紙の充実を図っていききたい。また、松尾さんの早い健康の回復を心よりお祈りしたい。それと共に、福生市財政の健康も気がかり。福生市の将来を見据えた「財政の健全化」を杉山議員と一緒に考えていきたい。ゴミの不法投棄や犬猫の糞害などモラルの不健康も気がかり。私(犬)の飼い主は毎日の散歩でもしっかりと糞の持ち帰りをしているのが私の自慢。森田昌巳さんの愛犬「きなこ」と一緒に、他の飼い主のモラル向上に私も一役かう決意。(虫)

